

# 2024度 事業報告書

2024年4月1日～2025年3月31日



一般社団法人CSV開発機構

1. 法人概要	P 2
2. 年間活動一覽	P 5
3. 主要活動	P10
4. 受託事業	P15
5. 自主事業	P20
6. 広報業務	P22

# 1. 法人概要

## 一般社団法人CSV開発機構の設立の趣旨と目的

一般社団法人CSV開発機構は、CSVをテーマとした「地域の公益と企業益を両立させるCSVサーベイランス研究会」、その産官学連携での発展形である「CSVサーベイランスネットワーク」での活動を踏まえ、CSVによる事業創造・社会課題の解決に向けて本格的な活動を推進するために発足した法人です。

私たちCSV開発機構は、高齢化対応・地域の活性化などの社会課題、気候変動などの環境問題など、さまざまな社会・環境課題を抱える現代社会において、企業がCSR（Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任）やISO26000の理念を踏まえつつ、本来の事業展開力を活かした新しいビジネスモデルによって、より良い社会、持続可能な未来を創造しているというCSVを事業化することを目的としています。

新たな価値観に基づく社会の創出や、生活者のQOLの向上を目指し、産官学民の連携による新しいビジネスモデルの構築とその事業化に向け、プラットフォームとなり、アライアンスパートナーの構築やオープンイノベーション推進など、総合的なご支援いたします。

## 役員（2024年6月1日現在）

理事長 赤池 学

副理事長 水上 武彦

専務理事 小寺 徹

理事 加藤 薫（ヤマハ発動機株式会社）

長谷部 直人（東京書籍株式会社）

古田島 淳（株式会社ジェイティービー）

森田 俊作（大和リース株式会社）

事務局長 石井 玲子

監事 藤中 隆一（株式会社乃村工藝社）

顧問 渋澤 寿一

# 1. 法人概要

## 会員（2024年8月3日現在）

### （一般会員）

コドモエナジー株式会社

株式会社ジェイアール東日本企画

住友林業株式会社

株式会社DGコミュニケーションズ

株式会社富山

農林中央金庫

ヤマハ発動機株式会社

株式会社JTB

大和リース株式会社

東京書籍株式会社

二子八株式会社

株式会社乃村工藝社

### （特別会員）

青森県庁

弘前市

静岡市

浜松市

名古屋市（東京事務所）

大阪府（公民戦略連携デスク）

千葉商科大学

大東文化大学経営研究所

特定非営利活動法人キッズデザイン協議会

特定非営利活動法人日本ジビエ振興協議会

## 事業内容

- ① CSVによる社会課題解決を進めるために必要なビジネスモデル開発を支援する事業
- ② CSVによる社会課題解決を進めるために必要な政策提言を行う事業
- ③ CSVに関わる調査研究事業
- ④ CSVに関わるコンサルティング事業
- ⑤ CSVに関わる受託事業
- ⑥ CSVによる解決を必要とする社会課題の収集を行う事業
- ⑦ CSVによる社会課題解決を進めるために必要なネットワークを構築する事業
- ⑧ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な普及、啓発、交流を行う事業
- ⑨ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な情報収集・発信を行う事業
- ⑩ その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

### 2024年

04月	[機構運営]	設立記念日（2日）
	[官民連携]	菰野町官民連携事業創出意見交換（16日）
	[機構運営]	理事会（17日）＊オンライン
	[機構運営]	新潟大学CSV協働意見交換（25日）
	[機構運営]	自然科学館 JV会議・次世代循環型農業体験施設視察（25日）
05月	[官民連携]	川崎市緑化フェア官民連携（12日）
	[機構運営]	社員総会・理事会（22日）＊於：3×3 Lab Future
	[セッション]	地域発・日本のリデザイン（22日）＊於：3×3 Lab Future
06月	[官民連携]	川崎市公共交通意見交換（4日）
	[機構運営]	森林ICT活用意見交換（5日）
	[機構運営]	CSVトレーニング意見交換（6日）
	[機構運営]	金融機関意見交換（7日）
	[機構運営]	事業運営意見交換（13日）
	[官民連携]	矢祭町新産業創出（21日-22日）
	[機構運営]	CSV新事業創出意見交換（25日）

## 2. 年間活動一覧

07月	[機構運営]	CSV新事業創出意見交換（2日）
	[機構運営]	CSV新事業創出意見交換（4日）
	[機構運営]	CSV新事業創出意見交換（5日）
	[官民連携]	勝浦市CSV事業創出意見交換（10日）
	[官民連携]	千葉県庁 ローカルフードプロジェクト研修会（11日）
	[官民連携]	川崎市公共交通意見交換（12日）
	[官民連携]	矢祭町魅力発信事業（16日-17日）
	[機構運営]	CSV新事業創出意見交換（24日）
	[官民連携]	千葉県庁 ローカルフードプロジェクト戦略会議（25日）
	[機構運営]	新商品開発会議（25日）
	[官民連携]	農水省CSV事業創出意見交換（29日）
	[官民連携]	矢祭町魅力発信事業（30日）
8月	[官民連携]	埼玉県庁 緑の保全・活用セミナー（1日） * 於：埼玉会館
	[機構運営]	CSV新事業創出意見交換（5日）
	[官民連携]	林野庁森林ACTチャレンジ（7日）
	[官民連携]	千葉県庁 ローカルフードプロジェクト戦略会議（9日）
	[官民連携]	千葉県庁観光戦略意見交換（9日）

## 2. 年間活動一覧

- [官民連携] 矢祭町魅力発信事業（19日-21日）
- [官民連携] 水産庁CSV事業意見交換（22日）
- [官民連携] 新潟県CSV事業創出意見交換（23日）
- [機構運営] CSV新事業創出意見交換（23日）
- [官民連携] 埼玉県庁緑の保全・活用市町村ヒアリング（26日-28日）
- [官民連携] 川崎市公共交通意見交換（30日）
  
- 9月 [機構運営] CSV新事業創出意見交換（2日）
- [機構運営] 新商品開発会議（3日）
- [セッション] CSV実装トレーニング体験会（11日） \* 於：官民共創HUB
- [官民連携] 矢祭町魅力発信事業（12日-13日）
- [機構運営] 理事会（18日） \* 於：ヤマハ発動機
- [機構運営] CSV新事業創出意見交換（20日）
- [官民連携] 水産庁CSV事業意見交換（22日）
- [機構運営] CSV新事業創出意見交換（30日）
  
- 10月 [官民連携] 埼玉県庁緑の保全・活用を考える「市町&企業」交流会（8日）
- [官民連携] 林野庁「森林ACTチャレンジ」表彰式（9日）

## 2. 年間活動一覧

	[機構運営]	CSV新事業創出意見交換 (20日)
	[官民連携]	東北絆まつり (26日-27日)
	[官民連携]	環境省ネイチャーポジティブ意見交換 (31日)
11月	[機構運営]	CSV新事業創出意見交換 (5日-6日)
	[官民連携]	矢祭ブランド会議 (9日-10日)
	[官民連携]	矢祭町×麻布十番連携意見交換 (13日)
	[官民連携]	入間市ネイチャーポジティブ連携意見交換 (14日)
	[機構運営]	企業連携モニターツアー意見交換 (15日)
	[官民連携]	水産庁CSV事業意見交換 (15日)
	[官民連携]	矢祭町取材 (17日-19日)
	[機構運営]	理事会 (20日) * 於：ヤマハ発動機
	[機構運営]	採用面接 (30日)
12月	[機構運営]	CSV新事業創出意見交換 (2日)
	[機構運営]	矢祭町×城南信用金庫 (3日)
	[官民連携]	水産庁CSV事業意見交換 (4日)
	[官民連携]	下條村都市交流会 (11日)

## 2. 年間活動一覧

- [**官民連携**] 入間市官民連携意見交換&現地視察会 (17日)
- [**官民連携**] 千葉県庁 ローカルフードプロジェクト新商品試食会 (18日)
- [**機構運営**] CSV新事業創出意見交換 (23日)
  
- 1月

  - [**機構運営**] CSV新事業創出意見交換 (8日)
  - [**官民連携**] 矢祭ブランド会議 (10日-12日)
  - [**官民連携**] 入間市官民連携意見交換&現地視察会 (14日)
  - [**官民連携**] 矢祭町もったいない市場 於：KITTE (20日-23日)
  
- 2月

  - [**官民連携**] 埼玉県庁SDGsシンポジウム (17日)
  - [**機構運営**] 理事会 (19日) \* 於：大和リース
  - [**官民連携**] 矢祭町事業創出会議 (21日-22日)
  - [**セッション**] 魚が拓く地域経済と未来の可能性 (27日) 於：官民共創HUB
  
- 3月

  - [**機構運営**] 理事会 (12日) \* オンライン
  - [**機構運営**] 未来まちづくりフォーラム (19日) \* 於：東京フォーラム
  - [**機構運営**] 林野庁 森林ACTチャレンジ審査会 (27日)

### 3. 主要活動状況：全体セッション

#### 第1回 全体セッション

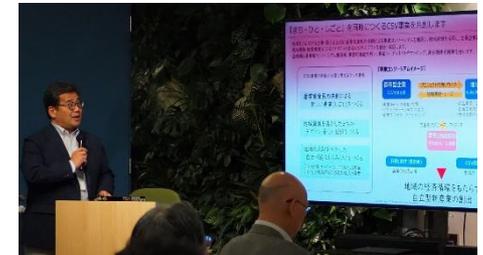
日時：2024年5月22日(水) 15:00-17:00

場所：3×3 Lab Future

#### 第1部 ご挨拶・取組紹介：専務理事 小寺徹

##### 「CSV開発機構のこれまでとこれからの歩み」

10年活動を継続できている理由は、「探る力」=情報収集「繋ぐ力」=コーディネート、「創る力」=事業企画立案力、人材育成力の3つに秀でていたからと考える。



#### 第2部 基調講演：近藤早映 (三重大学准教授／東京大学先端科学技術研究センター 准教授)

##### 「共創社会は実現可能なのか？「リビングラボ」の実践から読み解く」

共創とは、共通の大きな目的のために、独立した各自が、刺激しあいながら動くものです。協調・協働して同じゴールを目指すものでなくて良いし、単一のアプローチに限定するものでもありません。そういう動きからは、時にはいびつなものも生まれるかもしれません。何でも絵に描いたように進むものではないのです。しかし、イノベーションとはそういうものではないでしょうか。いびつなものが生まれることを恐れずに、排除せず、楽しむ精神で取り組むことが、リビングラボなのだと思います。



### 3. 主要活動状況：全体セッション

#### 第3部 パネルディスカッション

「地域発・日本のリデザイン～30年後の社会を共に創るために～」

##### 【パネラー】

近藤早映（三重大学准教授／東京大学先端科学技術研究センター 准教授）

湯山壮一郎（奈良県副知事）

塚田雄也（川崎市まちづくり局交通政策室長）

藤中隆一（株式会社乃村工藝社 ビジネスプロデュース本部 第一統括部 公民連携プロジェクト開発 1 部 部長）

田口真司（エコツツェリア協会 コミュニティ研究所長）

##### 【ファシリテーター】

小寺徹（(一社)CSV開発機構 専務理事）

パネルディスカッション詳細はHPをご参照ください

<https://www.csv-jp.org/?p=4378>



### 3. 主要活動状況：全体セッション

## 第2回 全体セッション：CSV実装トレーニング体験会

日 時：2024年9月11日(水) 14:00-18:00

場 所：官民共創HUB

参加者：20名

時間	内容	担当
(事前準備)	CSVビデオの視聴/自社のCSVに関する現状取り組みと今後実施すべきことをとりまとめ	—
14:00 15分	アイスブレイク、自己紹介、進め方説明、会場案内 質疑応答	角田
14:15 10分	【レクチャー&質疑応答】 CSVの基本について(ビデオの内容も含む質疑応答)	水上
14:25 40分	【グループワーク①】 バリューチェーンとサステナビリティ課題の関係を考える *参加者の所属業界を考慮してグループを分け、仮想の企業ケースを作成  仮想企業のバリューチェーンを描画し、気候変動、自然資本、サーキュラーエコノミー、人権、ダイバーシティといった基本 이슈に関する正負の影響、依存について検討	水上 近江 角田
15:05 20分	グループワーク①の発表、フィードバック	水上/近江
15:25 45分	【個人ワーク①】 自社のバリューチェーンとサステナビリティ課題の関係を考える  ・気候変動、自然資本、サーキュラーエコノミー、人権、ダイバーシティといった基本 이슈に関する正負の影響、依存について検討 ・グループ内で共有	水上 近江 角田
16:10 70分	【個人ワーク②】 CSVアイデアを考える  30 個人ワーク①をうけ、自社の製品・サービス、バリューチェーン、ビジネスエコシステムのCSVを広く創発し、有望なCSVを選定してCSVビジネスモデルキャンパスを描画 40 描いたCSVビジネスキャンパスを全参加メンバーから1人づつ選んでプレゼン+フィードバック(1ターム12分×3回)	水上 近江 角田
17:20 20分	個人ワークの共有・フィードバック(4-5人程度)	水上/近江
17:40 20分	感想や今後の抱負について (全員*1人1分)	角田
18:00 -	体験会終了 *アンケート提出後解散	



## オープンシンポジウム 兼 第3回全体セッション

日時：2025年2月27日(木) 19:00-21:00

場所：官民共創HUB

参加：32名

### 第1部 基調講演：柿沼 忠秋（水産庁増殖推進部栽培養殖課 課長）

#### 「水産業が抱える課題と国の取組・目指す姿 ～実証に向けて」

天然魚の漁獲が減る中で養殖に注目が集まっています。  
日本の水産業について、養殖業に着目しながら、成長産業化へ向けた国の方針や取組、水産業の抱える課題について説明していただきます。



### 第2部 課題提起：高舘 昂佑（水産庁増殖推進部栽培養殖課 係員）

#### 「気仙沼市が抱える水産業の現状と課題」

宮城県気仙沼市は、世界三大漁場の一つである三陸沖漁場を控え、漁業・養殖業を基盤とした全国屈指の水産都市として発展してきました。  
今回は、気仙沼市を事例に、地域の水産業の現状と課題について説明していただきます。

### 3. 主要活動状況：全体セッション

## 第3部 ワークショップ

### 「魚が拓く地域経済と未来の可能性」

養殖業に着目しながら日本の水産業の現状と課題を共有、  
 魚食文化の再興とともに地域経済の未来について、多様な視点を持つ方々と共に議論をします。  
 ※次回以降はここでの協議をきっかけに、官民連携による事業コンソーシアムを構築、事業実証および実装までを想定しています。

#### 【ファシリテーター】

角田知行（生涯学習開発財団認定コーチ、ICF認定Professional Certified Coach(PCC)）



## 4. 受託事業：福島県矢祭町

福島県矢祭町：矢祭町地域魅力向上・発信事業 \* 復興庁福島再生加速化交付金

期間：2024年7月～2025年3月

協働企業：Discover Japan誌  
株式会社エクス

目的：

福島の風評被害の払拭と矢祭町の魅力を都内に発信することを目的として、首都圏を中心に町の知名度を高めるようなPR事業をJRや雑誌社等と連携して実施する。

事業概要：

①矢祭ブランド会議：

- ・ 町民ワークショップ
- ・ 魅力発信できる人財育成

②矢祭町魅力発信

- ・ SNS（インスタグラム）による情報発信
- ・ 矢祭町HP構築
- ・ 農産品販売を通じた魅力発信

### ① 矢祭ブランド会議による人財育成事業

- ・ 町民ワークショップ：11月10日(日)・1月12日(日)
- ・ 魅力発信を出来る人財の育成
- ・ Discover Japan誌での情報発信





## 4. 受託事業：福島県矢祭町

### 農産物販売等によるPR・情報発信：

☆タイトル

矢祭町もったいない市場

☆開催場所

KITTE丸の内 東京シティアイ パフォーマンスゾーン

\* 東京都千代田区丸の内2-7-2 東京駅丸の内南口より徒歩約1分

☆開催日時：2025年1月20日(月)～23日(木)

1日目：1月20日(月)：10時～19時

2日目：1月21日(火)：10時～19時

3日目：1月22日(水)：10時～19時

4日目：1月23日(木)：10時～19時

☆主催：矢祭町

☆物販運営：矢祭町特産品開発協議会

☆運営事務局：一般社団法人CSV開発機構

☆開催内容：福島県矢祭町のPRを実施することで、  
首都圏の方に現状を「知ってもらい」「食べてもらい」  
「来てもらい」、併せて風評被害の払拭を行う

☆来場者数：1万名強



## 4. 受託事業：埼玉県庁

### 【埼玉県「官民連携・共創による緑の保全・活用」企画提案等業務委託】

期間：2024年5月～2025年2月

目的：多様な主体の参画による里山や平地林などの緑や自然の保全や活用を通じて、社会課題の解決地域の魅力や価値向上を図るための仕組みや取組を総合的に推進するための 企画・運営・コーディネートを支援する。

事業概要：①本取組の認知と参画を促す機会の提供

市町村向け 「令和6年度 県・市町村緑化行政担当者会議」

企業・団体向け 埼玉県「官民連携・共創による緑の保全・活用」セミナー

生物多様性・ネイチャーポジティブが企業価値を変える 約80名参加

②緑の保全・活用にかかるプロジェクト立ち上げ支援

埼玉県内の自治体ヒアリング

令和6年度 緑の保全・活用を考える「市町・企業」交流会 \* 7自治体12企業参加

緑の保全・活用を考える意見交換会in入間市 \* 5事業者参加 \* 対象緑地の視察も実施

※本業務の報告を受け埼玉県は令和7年度に官民連携・共創によるネイチャーポジティブ・生物多様性に配慮した取組の立上げ運用 支援業務委託を公募予定。



セミナー



交流会



意見交換会  
視察



### (株) ジェイアール東日本企画 新潟支社との協働

#### 事業の概要：

ジェイアール東日本企画新潟支社の地域共生施策に協力する形で、新潟市中央区の商業施設において体験型のサイエンス・ワークショップを実施しました。

- ① くるくる回すとホログラム紙がひろがり、光と色の変化でしゃぼん玉のように見える玩具「しゃぼん玉スティック」を作るワークショップ

実施日：6月8日（土）・9日（日）

- ② 8つの立方体をつなげて、形を変えながら連続して展開する玩具「無限キューブ」を作るワークショップ

実施日：11月2日（土）・3日（日）



# 5. 自主事業：CSV実装トレーニング

## 事業名：CSV実装トレーニング

### 目的：

- ・ 有益な事業の芽を取りこぼすことなく、自社の強みを生かしたCSV事業の創出を支援。
- ・ CSV事業化フレームに基づき、CSV事業を生み出し続ける仕組みを構築。
- ・ 将来的に全社が一体的にCSVを生み出し続ける組織となるため、自社事業と社会課題との関係性の理解、CSV事業の創出・実践など、社員に自ら考え、動いていただくとともに、ステップアップをしながらCSVマインド、行動を根付かせる。

\* 下記企画書は汎用性を抜粋

### CSV事業創出に対する基本的な考え方



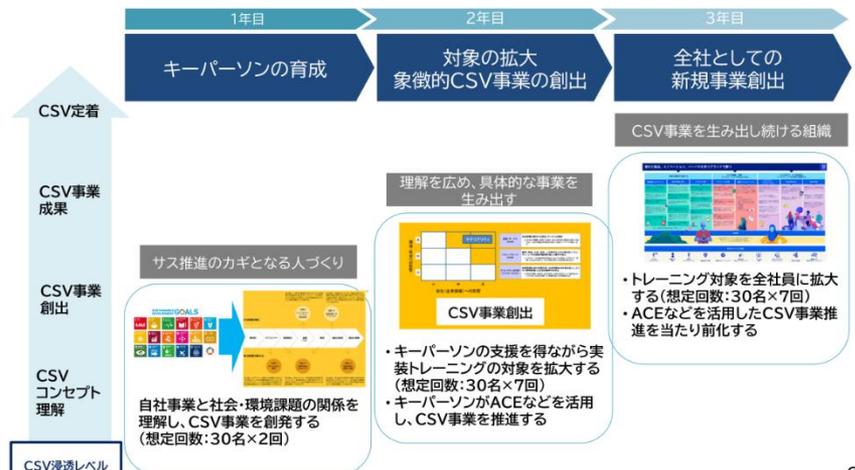
有益な事業の芽を取りこぼすことなく、貴社の強みを生かしたCSV事業の創出を支援するとともに、CSV事業化フレームを構築し、CSV事業を生み出し続ける仕組みを構築いたします。



### 社内理解醸成を促すサステナビリティ/CSV実装トレーニングのステップ



将来的に全社が一体的にCSVを生み出し続ける組織となるため、自社事業と社会課題との関係性の理解、CSV事業の創出・実践など、社員に自ら考え、動いていただくとともに、ステップアップをしながらCSVマインド、行動を根付かせます。



### 新規事業開始に伴う広報戦略について

#### 1. メールマガジンの配信：3155件配信

##### ①まちづくり号：毎月10日配信

CSV開発機構の事業の趣旨や目的を伝えるため事業経過を中心に配信

- ・ 事業実績（矢祭町・下條村等）
- ・ 脱炭素時代の新しいまちづくり
- ・ 産官学連携のまちづくり
- ・ セッション報告

##### ②SDGs / サステナビリティ経営号：毎月25日配信

CSV開発機構の自主事業である「CSV事業構築」の営業ツールとして配信

- ・ 水上副理事長「サステナビリティ経営論」ブログを中心とした事例
- ・ 「CSV経営の実践」に求められるSDGs / サステナビリティ事業の啓発